

# 兵庫県立美術館 出前授業のご案内

兵庫県立美術館は、兵庫県にゆかりのある作品や、国内外の絵画・彫刻・版画・写真・書・工芸等の作品を多数所蔵しています。これらのコレクションや教育普及活動のノウハウを活かし、学芸員の仕事や美術作品の鑑賞方法、制作と結びついた鑑賞等について、学芸員やミュージアムティーチャーが紹介する出前授業を実施しています。ぜひご活用ください。



元永定正  
《タビエ氏》  
1958年



## 1 作品と出会おう (時間:1コマ/形式:レクチャー+対話)

美術館の仕事を簡単に紹介したあと、所蔵作品の画像を用いた鑑賞授業を行います。作品画像をみて、発見したこと・想像したこと・考えたことを話しながら、視点を共有したり価値観の差を感じたりします。作家や作品についての解説も可能です。ぜひご相談ください。

**★図工・美術の鑑賞の授業等にご活用ください。小学校4年生以上がオススメです。**

## 2 <sup>わざ</sup>技に注目! (時間:1コマ+後日学校での制作1コマ、形式:レクチャー+対話)

美術館の仕事を紹介し、所蔵作品の中から技法がユニーク(例:フロッタージュやコラージュ等)なものを取り上げ、その技に迫ります。鑑賞授業で発見した技を学校の制作の授業につなげられるよう、制作方法や画材等を先生にお伝えします。

**★鑑賞体験を制作につなげる授業にご活用ください。**

## 3 アートカードを使おう (時間:1コマ/形式:レクチャー+ワークショップ)

美術館の所蔵作品の画像を用いたアートカードを使った鑑賞授業を行います。グループでコミュニケーションしながら活動することで、考える力・話す力・聞く力など日常生活の中で必要とされる基本的な能力や、相互理解、自己認識力、課題解決能力などを育むきっかけとなります。

**★図工・美術の鑑賞の授業等にご活用ください。小学校4年生以上がオススメです。**

## 4 学芸員の仕事とは? (時間:1コマ/形式:レクチャー)

美術館の役割とは?美術館で働いている人はどんな仕事をしているの?

美術館の施設や、美術館業務に携わる人々の表からは見えないさまざまな仕事を紹介。

**★中学校や高校のキャリア教育に最適です**

## ★出前授業のポイント

- 県立美術館の学芸員やミュージアムティーチャーなど専門のスタッフが授業を行います。
- 基本的に、1クラス1コマで授業を行います。  
※複数クラスの場合、教室の広さや児童・生徒の様子、授業の内容に合わせて、合同または複数の教室で別々に行うこともあります。
- 学校で準備いただくもの
  - ① 画像の映写に適した部屋  
※「メニュー3」の場合、班活動が出来る+カードを広げられる空間が必要です。
  - ② パワーポイントが入ったパソコン
  - ③ スクリーンとプロジェクター、または大型モニター

**スタッフの出張経費は当館で負担します。**

公共の交通機関を利用してお伺いしますので、最寄り駅までの送迎をお願いします。

### 【注意】

- ★実施日は、美術館が開館している日です。※HP等でご確認ください。
- ★美術館に学校団体の来館予約が入っている日はお伺いできません。
- ★メニュー1・2・3は、美術館のノウハウを先生にお伝えし、その後、学校の授業で活用いただくことを目的に行っています。そのため、初めての学校を優先します。
- ★授業参観やオープンスクール等、保護者や地域の方に学校を公開する日は除きます。

## ★申込み方法

- 別紙「出前授業 申込みシート」に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。  
※様式はHPから入手いただけます。
- 結果につきましては、締切り後2週間を目処にFAXにて返信します。  
日程が合わない場合は、それより前に連絡します。改めて調整させていただきます。  
※締切り後3週間を過ぎても返信が無い場合はお問い合わせください。
- ご希望を多数いただいた場合は、初めての学校を優先して、可能な範囲でお伺いします。

時期	実施期間	受付締切日
1学期	6・7月	5/5(日)
3学期	1~3月	12/1(日)

## ★お問い合わせ

教育支援・事業担当

学芸員 ゆうめん 遊免、ミュージアムティーチャー まつがみ 松上

TEL:078-262-0908 FAX:078-262-0903

<http://www.artm.pref.hyogo.jp/> →メニューバー「教育プログラム」→「学校向け」

出前授業のお申し込みは 078-262-0903 (FAX)